



## 平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月7日

上場会社名 安田倉庫株式会社

上場取引所 東

コード番号 9324 URL <http://www.yasuda-soko.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 宮本 憲史

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 藤原 和雄

TEL 03-3452-7311

四半期報告書提出予定日 平成24年8月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	8,511	△1.6	567	△8.4	591	△2.8	433	29.8
24年3月期第1四半期	8,646	5.0	619	2.6	608	2.7	334	69.3

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 1,771百万円 (263.4%) 24年3月期第1四半期 487百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	14.29	—
24年3月期第1四半期	11.01	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	80,080	40,200	50.0
24年3月期	78,200	38,643	49.2

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 40,022百万円 24年3月期 38,468百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	7.00	—	7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	17,200	0.5	1,100	△11.7	1,150	△5.6	650	△8.4	21.42
通期	35,100	2.1	2,550	2.0	2,600	6.0	1,500	5.5	49.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	30,360,000 株	24年3月期	30,360,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	11,912 株	24年3月期	11,862 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	30,348,088 株	24年3月期1Q	30,348,149 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10
(6) セグメント情報等 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間（平成24年4月1日～平成24年6月30日）におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要などを背景として緩やかな回復がみられたものの、欧州債務危機による海外経済の減速感に加え、電力供給の制約、デフレの影響などから景気の先行きは依然として不透明な状況で推移しました。

倉庫物流業界では保管残高は増加傾向にあるものの入庫高は安定せず、また不動産業界ではオフィス空室率が高止まりするなど、業界を取り巻く事業環境も厳しい状態で推移しました。

このような環境の中で当社グループは、物流事業ではお客様の物流アウトソーシングニーズを積極的に開拓する営業を展開し収益増加に努め、不動産事業では既存施設の稼働率維持・向上に努めました。

当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績は、営業収益は不動産事業が増収になった一方、物流事業の減収により前年同期比134百万円減（1.6%減）の8,511百万円となりました。また、営業利益は前年同期比52百万円減（8.4%減）の567百万円、経常利益は前年同期比16百万円減（2.8%減）の591百万円となりました。四半期純利益は税金費用の減少などにより前年同期比99百万円増（29.8%増）の433百万円となりました。

セグメントの業績は、次の通りであります。

物流事業では、前年後半の倉庫施設の拡張などにより保管料は増加したものの、前年同期に比べ引越取扱や震災復旧需要の減少などから陸運料、国際貨物取扱料が伸び悩みました。その結果、物流事業の営業収益は前年同期比160百万円減（2.2%減）の7,180百万円、セグメント利益は前年同期比85百万円減（14.0%減）の523百万円となりました。

不動産事業では、一部施設の稼働率の低下などにより賃貸料が減少した一方、工事受注に係わる収益が増加しました。その結果、不動産事業の営業収益は前年同期比30百万円増（2.1%増）の1,439百万円、セグメント利益は前年同期比19百万円減（3.8%減）の496百万円となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、投資有価証券の時価評価が増加したことにより、前連結会計年度末に比べ1,879百万円増の80,080百万円となりました。

負債については、未払法人税等の減少がありましたが、投資有価証券の時価評価増加に伴う繰延税金負債の増加により、前連結会計年度末に比べ322百万円増の39,880百万円となりました。

純資産については、利益剰余金及びその他有価証券評価差額金の増加により前連結会計年度末に比べ1,557百万円増の40,200百万円となりました。以上の結果により自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ0.8ポイント増の50.0%となりました。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ85百万円増の2,802百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益や減価償却費の内部留保等により235百万円の資金増加となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、主に固定資産の取得により311百万円の資金支出となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、主に短期借入金の増加により159百万円の資金増加となりました。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間の当社グループ業績は、概ね計画通り推移しております。従って、連結業績予想については、平成24年5月10日発表の第2四半期連結累計期間及び通期業績予想を変更していません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる損益に与える影響は、軽微であります。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,739	2,825
受取手形及び営業未収金	4,707	4,631
繰延税金資産	315	192
その他	340	368
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	8,100	8,013
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	28,832	28,727
機械装置及び運搬具（純額）	483	468
工具、器具及び備品（純額）	490	471
土地	20,152	20,152
建設仮勘定	362	364
有形固定資産合計	50,322	50,184
無形固定資産		
借地権	737	737
その他	295	333
無形固定資産合計	1,033	1,071
投資その他の資産		
投資有価証券	16,727	18,794
繰延税金資産	521	522
その他	1,520	1,520
貸倒引当金	△25	△25
投資その他の資産合計	18,744	20,811
固定資産合計	70,100	72,066
資産合計	78,200	80,080
<b>負債の部</b>		
流動負債		
営業未払金	2,081	1,886
短期借入金	4,470	5,100
1年内返済予定の長期借入金	7,058	6,679
未払法人税等	615	82
未払費用	809	563
その他	972	1,265
流動負債合計	16,008	15,577
固定負債		
長期借入金	12,598	12,715
繰延税金負債	4,795	5,480

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
退職給付引当金	1,595	1,586
長期預り敷金保証金	4,030	3,988
その他	530	531
固定負債合計	23,548	24,302
負債合計	39,557	39,880
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,602	3,602
資本剰余金	2,790	2,790
利益剰余金	23,778	23,999
自己株式	△5	△5
株主資本合計	30,165	30,386
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,324	9,651
為替換算調整勘定	△21	△15
その他の包括利益累計額合計	8,302	9,635
少数株主持分	175	178
純資産合計	38,643	40,200
負債純資産合計	78,200	80,080

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
営業収益		
保管料	1,393	1,446
倉庫作業料	1,427	1,426
陸運料	2,128	2,012
国際貨物取扱料	1,598	1,510
物流賃貸料	387	391
不動産賃貸料	1,081	1,058
その他	630	666
営業収益	8,646	8,511
営業原価		
作業費	3,763	3,575
人件費	1,399	1,432
賃借料	427	483
租税公課	216	203
減価償却費	541	497
その他	987	1,110
営業原価	7,336	7,304
営業総利益	1,309	1,207
販売費及び一般管理費		
報酬及び給料手当	336	333
福利厚生費	44	46
退職給付費用	12	13
減価償却費	74	14
支払手数料	82	79
租税公課	15	20
その他	123	132
販売費及び一般管理費合計	689	640
営業利益	619	567
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	77	98
雑収入	5	9
営業外収益合計	83	107
営業外費用		
支払利息	94	80
雑支出	0	3
営業外費用合計	94	84
経常利益	608	591



(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
特別利益		
固定資産売却益	0	—
特別利益合計	0	—
特別損失		
固定資産廃棄損	17	6
投資有価証券評価損	—	1
投資有価証券売却損	8	—
特別損失合計	26	8
税金等調整前四半期純利益	582	583
法人税、住民税及び事業税	103	80
法人税等調整額	138	66
法人税等合計	242	146
少数株主損益調整前四半期純利益	339	436
少数株主利益	5	2
四半期純利益	334	433

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	339	436
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	143	1,326
為替換算調整勘定	4	7
その他の包括利益合計	147	1,334
四半期包括利益	487	1,771
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	480	1,766
少数株主に係る四半期包括利益	6	4

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	582	583
減価償却費	616	512
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	0	△0
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	20	△8
受取利息及び受取配当金	△78	△98
支払利息	94	80
固定資産売却損益 (△は益)	△0	—
固定資産廃棄損	17	6
投資有価証券売却損益 (△は益)	8	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	1
売上債権の増減額 (△は増加)	△244	83
仕入債務の増減額 (△は減少)	59	△199
預り敷金及び保証金の増減額 (△は減少)	△13	△41
その他	△136	△103
小計	927	816
利息及び配当金の受取額	78	98
利息の支払額	△88	△75
法人税等の支払額	△406	△604
営業活動によるキャッシュ・フロー	510	235
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△87	△233
有形固定資産の売却による収入	0	—
無形固定資産の取得による支出	△33	△66
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
投資有価証券の売却による収入	6	—
その他	△8	△11
投資活動によるキャッシュ・フロー	△122	△311
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	1,110	1,100
短期借入金の返済による支出	△472	△470
長期借入れによる収入	900	1,600
長期借入金の返済による支出	△1,807	△1,862
配当金の支払額	△204	△205
その他	△2	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	△476	159
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	3
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△85	85
現金及び現金同等物の期首残高	2,827	2,717
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,741	2,802

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年6月30日）

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (注) 1 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 (百万円)
	物流事業 (百万円)	不動産事業 (百万円)	計 (百万円)		
営業収益					
外部顧客への営業収益	7,336	1,309	8,646	—	8,646
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	3	99	103	△103	—
計	7,340	1,409	8,749	△103	8,646
セグメント利益	609	516	1,125	△505	619

(注) 1. セグメント利益の調整額△505百万円には、セグメント間取引消去△5百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△499百万円が含まれております。全社費用は、親会社の総務部門等、管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年6月30日）

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (注) 1 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 (百万円)
	物流事業 (百万円)	不動産事業 (百万円)	計 (百万円)		
営業収益					
外部顧客への営業収益	7,176	1,334	8,511	—	8,511
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	3	104	107	△107	—
計	7,180	1,439	8,619	△107	8,511
セグメント利益	523	496	1,020	△452	567

(注) 1. セグメント利益の調整額△452百万円には、セグメント間取引消去△9百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△443百万円が含まれております。全社費用は、親会社の総務部門等、管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。